

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度朝霞市特別職報酬等審議会（第2回）	
開催日時	令和6年10月1日（火） 午後2時から午後3時58分まで	
開催場所	朝霞市役所 別館2階 第1委員会室	
出席者及び欠席者の職・氏名	<p>○出席者 委員9人 （相澤敦委員、五十嵐一雄委員、加茂幸雄委員、栗原理恵委員（職務代理）、佐野昌夫委員（会長）、高橋甚次委員、種子恵美委員、細田訓由委員、松尾哲委員） 事務局6人 （佐藤職員課長、古瀬職員課長補佐、田中職員課給与厚生係長、金井職員課給与厚生係主査、太田議会事務局長、松原議会総務課長補佐兼庶務係長）</p> <p>○欠席者 委員1人 （鈴木将平委員）</p>	
議題	<p>1 市長、副市長及び教育長の給与の額について 2 議会の議員の議員報酬の額について 3 朝霞市議会における会派若しくは議員の政務活動費の額について 4 その他（議会の議員の期末手当の支給月数について）</p>	
会議資料	別紙のとおり	
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
会議録の確認方法 会長による確認		
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

◎開会

◎追加資料説明

◎審議

【1 市長、副市長及び教育長の給与の額について】

○佐野会長

これより審議に入りたいと思います。

それでは、この資料に関して、御質問を賜りたいと思います。

高橋委員。

○高橋委員

私の方で、過日、追加資料の4を事務局に依頼させていただきました。この趣旨なのですが、部長級の方と三役の給与があまり近づきすぎても、逆に問題が出てしまうのかなということがありましたので、現在、部長級の給与がどの程度なのか知りたかったので、この資料を提出していただきました。

ただ、この部長級の資料を見ますと、部長級の給与に関しましては通勤手当、扶養手当、住居手当は含まれないということですので、三役に関しましては、手当類は支給されないということなのですが、部長級は、ここに手当がさらに含まれて支給されているということを、先ほど事務局から伺いました。

○佐野会長

五十嵐委員。

○五十嵐委員

ちょっと別の話かもしれませんが、市長、副市長及び教育長の違いなのですが、市長は、市議会議員もそうですが、選挙によって選ばれる。一方、副市長と教育長は、市長が指名するということなのですか。その辺が詳しく分かっていないのですが、だから、現実的には、副市長と教育長は、市の職員の人があるのか。選挙によって選ばれたとか、そういう経過でもないかなと思っていて、市長や市議会議員は選挙によって選ばれていて、それなりの活動費とか出ていますけど、経費がかかるということで、4年に一度ですが、もう少し市長と副市長及び教育長に、格差を設けてもいいんじゃないかなとは個人的には思います。

ただ、その格差がどのくらいあった方がいいかというのと、どの金額が妥当なのか、悩ましいところがあり、単価をどうしたらいいかというのは、その結論が分からないのですが、この表を作ってもらって、目安として並べてもらうのは本当に作業が大変だと思うのですが、今回はこのぐらいの単価でどうでしょうか、という提案があればありがたいかなと。ただ、私も選ぶ根拠が分からないので、それで迷っているところです。

○佐野会長

副市長や教育長は選挙で選出されてはいないですね。その辺について、事務局より御説明をお願いいたします。

職員課長。

○事務局（佐藤職員課長）

副市長及び教育長の選任の方法なのですが、市長は選挙で選ばれ、副市長及び教育長につきましては、市長が議会に諮り、議会で承認をいただき、副市長ないし教育長という職を仰せつかるという形になっておりますので、市長に選任する権限がございます。

自治体によるのですが、市の職員がそのまま副市長に選ばれる場合もありますし、外部から招聘するような場合もございますので、市長の一存で議会に諮るという形になっ

ており、教育長も同様でございます。

○佐野会長  
加茂委員。

○加茂委員  
令和2年から月額給与の変更がなかった理由は、どういうことなんですか。

○佐野会長  
事務局。

○事務局（田中給与厚生係長）

例年、朝霞市の職員の給料額というのは、人事院勧告に基づきまして、議会に諮って決定をしているところなのですが、令和2年度から4年度にかけては、この部長級の俸給表に増加がなかったため、据え置きという形になりましたが、令和5年の勧告で、若手を中心に、1%弱程度の引上げの勧告があり、部長級職員についても、0.28%の引上げに至ったという形になっております。

○佐野会長  
加茂委員。

○加茂委員  
令和5年度には上げなかったのですよね、市長、副市長、教育長は。部長級は上がったけれども、三役は上げなかったということなのですかね。

○佐野会長  
職員課長。

○事務局（佐藤職員課長）

先ほど担当から申し上げました、人事院勧告におきまして、部長級については令和5年度に給与改定ということで、少し給料の上昇がございました。三役につきましては、昨年度、こちらの特別職報酬等審議会で議論いただきまして、その結果、据え置きということで、引上げはされておられません。

令和元年に審議会を行い引上げとなり、市長で申し上げますと90万3,000円が93万円に変わっておりますが、その後は審議会の開催をしておらず、令和5年度に4年ぶりの開催となっており、据え置きでございましたので、令和6年もこちらと同額の93万円という状況になっております。

○佐野会長  
種子委員。

○種子委員  
2024年度の賃上げ率が、一般企業において最多で5%以上6%未満となっております。前回、財政状況がどうなっているのかというお話をいただいたのですが、増加率によっては金額が随分変わりますので、財政状況として、0.5%でも検討できるし、5%でも検討してよろしいという事なのではないでしょうか。

○佐野会長  
職員課長。

○事務局（佐藤職員課長）

確かに、第1回目の会議において財政状況も踏まえて御審議をいただきたいということをお話させていただいているところでございます。

三役ないし市議会議員の報酬が、どの程度が適当なのかというのを議論いただきまして、その後答申をいただいた上で、本市の状況も踏まえ、どういった形が最も適当かということで、市長が判断をさせていただき、必要に応じて議会に手続きをさせていただくということになります。財政状況は第1回目も申し上げましたとおり、本市は交付税の不交付団体ということで、決して財政状況が悪いということではございません。

○佐野会長

資料に関する質問は以上とさせていただきます。

それでは、市長、副市長及び教育長の給料の額の引上げ額やその時期などについて、お一人ずつ御意見をお伺いさせていただき、その後、追加で御意見がある場合は、挙手にて御意見を頂戴いたします。

なお、前回会議において引上げの方針としておりますが、本日配布された資料等を踏まえ、御意見に変化がある場合などについては、率直に御発言いただければと思います。

それでは、皆さんの御意見を伺います。

松尾委員。

○松尾委員

時期については、ここで決めても市議会の承認が必要となるわけですので、一般職が上がるのと同じ時期ではなく、今後の議会日程を考えると4月ぐらいになるのでしょうか。

額につきましては、2.5%から3%でしょうか。人事院勧告が2.8%ということで、30年ぶりの高水準のベースアップと言われておりますので、それに準ずる形で2.5%から3%、2.8%でもいいのかなと思います。

○佐野会長

高橋委員。

○高橋委員

引き上げるのは構わないと思っており、時期的には、松尾委員と考えは同じです。それで引上げの内容なのですが、個人的には常勤職である三役を上げて、市議会議員をどうするかというところなのですが、市議会議員も三役とある程度同じように上げるという考え方もあるのかなと。ただ、個人的にはですね、常勤職である方を優先したいという気持ちはあり、皆さんのお考えもお聴きして、判断したいなと思っております。上げ幅については少し保留にさせてください。

○佐野会長

相澤委員。

○相澤委員

どの数値を見て上げるかというのは、すごく難しいところだと思うんですけども、埼玉県内の人口類似市の資料を見ると、およそ2%とか2.5%を上げるのが、人口と比較したときに妥当なところかなとは考えています。ただ、私が見たのがあくまで給料額だけなので、賞与などが入ってくると他の市のことが分からないので、そこら辺も含めて年間の報酬という形で見たときに、2%ないし2.5%というのが妥当なのかというのはこの資料からだと読み切れなかったのですが、給料額だけで見れば、平均値まで上げていくのがいいのかなと考えています。

いつからということに関しては、スケジュール感に関してそこまで詳しくないので、無理のないところで先ほどおっしゃられた範囲でいいかなと思っております。

○佐野会長

五十嵐委員。

○五十嵐委員

すいません、質問なのですが、引上げ時期までここで検討しないといけないんですかね。それと、人事院勧告では何%上がるのか、もう一度お願いできますでしょうか。

○佐野会長

事務局。

○事務局（田中給与厚生係長）

まず1点目ですけれども、引上げ時期についても諮問事項に含まれておりますので、

こちらでも議論をしていただいて、答申として出していただければと考えております。

2点目ですけれども、令和6年度の人事院勧告ですと、全体の平均で2.76%という上げ幅となっております。

○佐野会長

五十嵐委員。

○五十嵐委員

これは最終的に市議会で決めるわけなので、今すぐに上げられないので、無理のない日程で、例えば新年度の4月からでいいのではないかと思います。

パーセンテージについては、やはり上げるにしてもちゃんとした理屈がないといけなし、質問があった際に答えられるものでなければならないと思います。例えば、人事院勧告が2.76%の上げ幅であれば、それに応じた理由付けをきちんとした方がいいのかなと思います。

それと、三役だけじゃなくて、三役の仕事が常勤で、市議会議員がそうではないというのは、現実にはよく分からないのですが、市議会議員も、市議会がなくても、市民相談とかを行っている人も多々いるみたいなので、今上げるのであれば、三役も市議会議員も平等に人事院勧告に応じたパーセンテージで、しっかりした理屈を持った上で上げた方がいいのではないかと思います。

○佐野会長

加茂委員。

○加茂委員

今年の人事院勧告では、一般職員が平均で2.76%の上げ幅ということですよ。ですから、その率をそのまま三役に適用するのは、ちょっと高すぎるのではないかなと思います。上へ行けば行くほど、基本的な月額が多いわけですから、パーセンテージにするともっと膨らむわけですよ、金額的に。少なくとも、2.76%より下の率にしておかないと、金額的にもものすごく膨らんでしまうと思います。

それと、改定の時期は、4月からがよろしいと思うんですけどね。

○佐野会長

職員課長。

○事務局（佐藤職員課長）

補足で説明をさせていただきます。

追加資料4として部長級との比較の資料を配らせていただきましたが、人事院勧告において平均で2.76%の上昇ということで、担当からお伝えさせていただいたとおりではあるのですが、加茂委員もおっしゃったとおり、階級によって上げ幅が様々でございますので、参考として部長級の上げ幅が、令和6年の人事院勧告においてはどうかと言いますと、この追加資料4の表の上に、括弧書きで前年比1.05%の上昇率ということで、令和6年の人事院勧告を基にして計算した率を記載してございます。ですので、こちらの率を参考にさせていただくのも一つの考え方かなとは考えております。

○佐野会長

高橋委員。

○高橋委員

課長から御説明いただきましたけれども職員全体では2.76%ですが、当然低賃金の方の方が割合的には上がってるという認識でいいんですか。要するに部長とか次長とかが上がってる率は少なく、という感覚で見えていいということですか。

○佐野会長

事務局。

○事務局（古瀬職員課長補佐）

おっしゃるとおり、やはり若手職員ら給与的に低いところの方が影響率が高く、上に行くに従って減衰していくという形になるでしょうか。

○佐野会長  
種子委員。

○種子委員

時期は全く分からないので、やはり4月なのかなと思いますが、パーセンテージもどう解釈していいのか。気持ちとしてはたくさん上げられたらいいけれども、市民感情を慎重に考えなければいけないんだなと思いますし、若手の方が率が高いということを考えると、2%とかが妥当なのかなと思うが、本当に全く分かりません。

○佐野会長  
細田委員。

○細田委員

重なる部分もあるかとは思いますが、パーセンテージに関しましては、部長とか役職の上位の方はそこまで上がってないということですよね。そうしましたら、私の考えや主張は、副市長や教育長もそこまで上げる必要はないんじゃないのかなと思います。やはり全体が上がってからでないと、上役の方も上げる必要ないのかなと。意見です。

○佐野会長  
栗原委員。

○栗原委員

時期につきましては、もう皆さんもおっしゃっているとおり、議会の関係とか、予算の関係等を見て、4月が妥当なのかなというふうに考えております。上げ幅につきましては、人事院勧告は一つの判断根拠になりやすいのかなというところもありますので、それで考えますと、部長級以上は1.05%引上げということで、1%ないし1.1%の上げ幅が妥当ではないかなというふうに個人的には考えております。

○佐野会長  
細田委員。

○細田委員

この追加資料の3番で、令和5年度に報酬を上げたところだと思うんですけども、これはただ単純に上げたところを調べて載せているのか、それとも、朝霞市に似た町なのかどうなのか、どういった思いでこの市を載せているのか教えていただけるとでしょうか。

○佐野会長  
事務局。

○事務局（金井給与厚生係主査）

今回抜粋した市につきましては、昨年度、令和5年度に報酬等審議会を開催し、なおかつ引上げという答申になったものを抜粋しておりまして、産業形態であったり、人口であったりは様々で、特に朝霞市に似通っているから抜粋したというわけではないです。資料として、いろいろな選択肢がありますよというところで、様々な理由が、改定に至る経緯が様々ございますので、今回この6市を抜粋させていただいた形になります。

○細田委員

分かりました。そうするとこのパーセンテージを決めるのは、やはり難しいなと思いました。

○佐野会長  
高橋委員。

○高橋委員

ちょっと過去の話をして申し訳ないですが、前年も会に出ておりました。その時、最終

的に皆さんのお話の中で、正確か曖昧なんですけども、まだちょっとアフターコロナの影響を引きずっているような状況が見られましたので、その時点でボンと上げちゃうと市民感情的にもなかなか厳しいのではないかなというように、やはり一番あったのかなと思っております。今年に関しては、もうアフターコロナというのも、あまりもう影響がないというような認識の方が一般市民の思いだと思いますので、財政的に余裕があるのであれば、少しは上げないと、これだけ生活費も実際にかかるような状況も出ておりますので、ちょっと厳しいのかなと思っております。

部長職が、先ほど事務局の方からありましたけども、去年、1.05%程度と、手当等含めてですが、引上げがありましたので、1%から2%の間ぐらいがよろしいのではないかなとは思っています。もうちょっと皆さんの意見をですね、参考にしながら、最終的には意見したいと思っております。

○佐野会長

松尾委員。

○松尾委員

部長さんの数値を見ますと、1.05%ということで、この数字もよく分かるんですが、やはり三役の方は部長さん方と同じような職責として、重みを持ってらっしゃるんですけども、やはり三役の方とは違うと思うんですね。やはり三役の方はこの間もお話が出ましたように、24時間365日雨が降っても風が吹いても、それこそ避難所の開設ですとか、その度に調査なんかも、他の職員も出ることは分かりますけども、ちょっと重みが違うかなという気がします。

また、前回もらった資料の9ページ、資料4-5ですね。全国の市長さんの給料が載っているわけですが、例えば2%上げたにしても、市長が94万8千円、これで比べてみても決してですね、多くはならない。職員さんの給料も低いと思うんですが、もうちょっとそれに見合った給料に、非常に財政状況もいいというわけですから、私はもう少し上げても、人勧と同じだけっていうことであれば、2%なり2.5%ぐらいでしょうか、もう少し管理職の方より多くてもよいのではないかなと。2%ぐらいが妥当かな。

○佐野会長

相澤委員。

○相澤委員

先ほどと意見は変わらず、平均値に合わせるの悪いことではないのかなと思ってますので2%とか2.5%あたりでいいのかなというのは、変わらないですね。市民感情というところを考慮するなら2%ぐらいが妥当なのかなというのは、いろんな方のお話を聴いてて、自分の中で思っているところです。

○佐野会長

五十嵐委員。

○五十嵐委員

個人的な結論は逆ですね。

市長さんとか三役は24時間とか仕事をする、それは申し訳ないですけど、職務からいうと当然の内容かなという気がするんで、ただそれと見合う報酬があってそれでいいのかなというそれはまた別問題ですけど。

三役だけパーセンテージ上げて、議員さんはパーセンテージが少なくなったときに、バランスがいいのか。三役の方だけ上げて、単価が高くなりましたということが、果たして、実際は仕事量とかいろんな市に対する一生懸命やってくれているのは現実かもしれませんが、ただ給料の面から見ると、例えば資料とか出たときに金額だけボンと出ますが、仕事の中身はどうなんだってそこまで書いてないわけですよ、詳しく。もしそれだけ上げるんだったら、ちゃんと理由付けをしないと、ただ結果だけ見たときには、えっ、

というふうを感じる。

もし上げるんだったら、市議員さんとかも一律、一律でいいのかという問題もあるけど、やるんだったら議員も一緒、景気もちょっと上向きなんで全体を例えば2%とか、全部上げたいなら1.5%にするとか。

三役だけ上げると、今お話あったとおり土台が大きいから、同じ2%でも金額が高いんですよ。そういった面からすると、私は逆に、三役の人が例えば1.5%引上げだったら、市議員さんとかは2%で、市議員さんも頑張ってくれと。それができないなら、一律、同じパーセントがいいのではないか。

○佐野会長  
加茂委員。

○加茂委員

今お話がありましたように、クラスが上へ行けば行くほど、パーセンテージでいくと金額が大きくなる。一般企業の場合も、そういう考え方はとらないですね。パーセンテージを従業員と同じくして、社長の給料を上げるという考え方はありませんから。必要に応じて金額で上げてると思うんです。ですから、一般職が2.76%ですから、ちょっとそこまでは必要ないと思いますし、私は1%ぐらいの金額でよろしいんじゃないかなというふうに思います。

○佐野会長  
高橋委員。

○高橋委員

追加資料3で、熊谷市とか三田市とかは、定額で引き上げてますよね。こういうやり方をするという考えはあり得るんでしょうか。

○佐野会長  
事務局。

○事務局（古瀬職員課長補佐）

この審議会でお決めいただく内容につきましては、パーセンテージであったり金額というところにこだわりはございません。資料を参考にさせていただきながら、お決めいただく形で、問題ございませんので、金額でも、パーセンテージでも大丈夫でございます。

○佐野会長  
栗原委員。

○栗原委員

先ほど申し上げましたとおり、個人的な意見としては民間の部長クラスというところを一つのラインで考えておりますので、1%ないし1.1%というところで意見に変更はございません。ただ皆様が2%引上げという意見であれば、その2%に反対をすることではございません。

○佐野会長  
高橋委員。

○高橋委員

今、二つの考え方が意見として出てるのかなと思っております。三役と議員さんと同じようなパーセンテージにしていくのか、それとも三役中心にしっかり上げていくのかということなんですけども。事務局としては、三役をまずしっかり決めてから、議員さんの方に行きたいというスタンスでしょうか。

○佐野会長  
職員課長。

○事務局（佐藤職員課長）

諮問事項として項目がありましたので、その順序でということでお示しさせていただ

いたのですけれども、なかなか議論が進んでいかないということであれば、一緒にして議論していただいて、結論を出していただくという形でも問題はないです。

○佐野会長  
細田委員。

○細田委員

次の議論に移る前に、引上げ幅のパーセンテージを決めたいということでしょうか。

今いろいろ1%だったり2%だったり御意見あったと思うんですよ。今決議を取るとして、2%で賛成なのか反対なのかというやり方なのか。ちょっとよく分からないなと思っていて。

○佐野会長

前回、1回目の審議においては、引上げということで、皆さんの御承認をいただいたわけで、やはり引上げ幅をある程度決めていかないと、進まないわけですね。

栗原委員。

○栗原委員

金額を決めるのは大変な作業なんですけれども、私達はそれを決めるためにここに集まっているというところなので、決めないといけないという作業になってくるかと思えます。それで、人勧ベースで部長クラスの1.05%という案と、それよりももう少し上げてもいいんじゃないかって2%程度の案、この2案だと思います。

その根拠っていうのは、やはりここにいるメンバーが、それでいいと認めた、ということになってしまうと思うんですけれども、決めるのは私達になってますので、1%程度か2%程度かを諮ってみてもよいのかなというふうに思っています。

○佐野会長

では、引上げ幅を1%程度か、2%程度にするか、諮ってもよいでしょうか。

松尾委員。

○松尾委員

賛成です。当初は三役の給料を決めてから市会議員の給料の話にしましょうということで始めたことですから、それが今、話をごちゃごちゃになってきている。決を取るなり、早急に決めていただきたいと思えます。

○佐野会長

相澤委員。

○相澤委員

質問なんですけれども、追加資料4で、三役と部長級の比較っていう形で書いていただいているんですけれども、議員さんの報酬というふうに見たときに、議員さんはどのくらいの職の方と比較するのが妥当でしょうか。

○佐野会長

議会事務局長。

○事務局（太田議会事務局長）

議会事務局長の太田でございます。当初にお渡しした資料の10ページでございます。議員さんのお給料ですが、議員の月額、令和5年のところで見ると39万円となっております。そのずっと下を見ていただくと、議員の年額が643万5,000円というふうになっております。その下にですね、職員、係長級とございまして、年額が690万1,472円とございますので、議員の給料は、係長級よりもやや低いというふうにお考えいただければよろしいかと思えます。

○佐野会長

それでは、引上げ幅の案を諮りたいと思えます。まず、引上げ幅は2%程度と思われる方。2人でしょうか。続いて、1%程度と思われる方。はい、1%が大多数でしょうか。

それではお諮りをいたします。三役の給料額の引上げ幅については、1%という意見が多数でございますので、答申には1%の引上げとしてよろしいでしょうか。また、実施時期については、令和7年4月1日が妥当であるということで御異議ございませんか。

(異議なし)

特に御異議がないようですので、諮問事項の「2 市長、副市長及び教育長の給与の額について」につきましては、令和7年4月1日から、1%の引上げということでまとめさせていただきます。

## 【2 議会の議員の議員報酬の額について】

○佐野会長

それでは、朝霞市市議会議員の議員報酬の額について審議をいたします。

朝霞市議会議員の議員報酬の額について議論いただきますが、市議会議員の議員報酬の額につきましては、前々回の令和元年の特別職報酬等審議会の答申に基づいて、令和元年は3%の増額となっておりますが、昨年度の審議会では据え置きとなっております。それでは皆様方の御意見を頂戴したいと思います。

松尾委員。

○松尾委員

やはり人事院勧告が出ている状況ですので、議員の方も上げるべきじゃないかなというふうに考えます。

○佐野会長

細田委員。

○細田委員

はい。同じく、議員さんも是非上げた方がいいと思います。

○佐野会長

種子委員。

○種子委員

同じ意見です。上げた方がいいと思います。

○佐野会長

高橋委員。

○高橋委員

はい。上げる方向で結構だと思います。

○佐野会長

相澤委員。

○相澤委員

はい、同じく上げた方がいいと思います。

○佐野会長

五十嵐委員。

○五十嵐委員

はい。私も上げるべきだと。議員についても、1%でよろしいんじゃないかなと思うんですが。

○佐野会長

栗原委員。

○栗原委員

議員についても上げ方向でよろしいかと思えます。

○佐野会長

松尾委員。

○松尾委員

資料3を見て、議員さんが本会議、各委員会に出られる日数はおおむね年間100日なわけですね。職員は、勤務日数が260日と。そんな中で議員さんは、兼業兼職が認められてるわけなんですね。それで係長と同じぐらいの給料になってると思う。兼業兼職等の絡み、年間100日間勤務ということを見ると、果たして何%が適正なのかなと。

人事院勧告が2.76%ですか。僕は三役もそのぐらい、2%ぐらいで、議員さんも2%ぐらいでどうかなと思っていましたが、三役とのバランスがいるという考えならば、合わせるとすれば1%という数字が出てくるのかなということで、今のところ決めかねてます。

○佐野会長

細田委員。

○細田委員

はい。先ほど、三役の方は1%ということなので、議員さんも1%として統一した方がいいかなと思います。一点だけ質問なんですけども、政務活動費は、市議会議員の皆様それぞれ月額2万円もらっているということなんですか。

○佐野会長

議会事務局長。

○事務局（太田議会事務局長）

はい、月2万円で年間24万円の政務活動費というのがございます。請求していただき、一度お渡しして、一年経過後に清算をしていただく。本を買ったり、研修に行ったり、そういう議会活動に資するものについて支出いただいて、余ったものをお返しいただくということで、皆さんに使っていただいています。

○細田委員

ありがとうございます。会派で預かって使うのかなってというイメージがあるんですけども、もし金額をもうちょっと上げたいなという思いがあるならば、政務活動費を少し上げるっていうのも、検討できるのかなと思います。給料自体は、1%に統一した方がいいのではないかなという意見です。

○佐野会長

種子委員。

○種子委員

やはり三役と同じ1%でいいのかなと思います。

○佐野会長

相澤委員。

○相澤委員

私も今のところ三役と同じく1%でいいのかなというふうに思ってるんですけども、一つお聴きしたいのが、先ほどは部長級のところで前年比は1.05%増額になっているというお話だったんですけども、議員の場合、先ほどの質問で係長と近いという話でしたが、係長の方というのは前年比どのくらい上がっているか、分かりますか。

○佐野会長

事務局。

○事務局（金井給与厚生係主査）

令和6年の人事院勧告を踏まえて、給料表ベースの改定率になるんですけども、係長級4級職は平均の改定率が1.606%になっております。

○佐野会長

五十嵐委員。

○五十嵐委員

私も上げるのはいいと思うんですけど、どれぐらい上げるかちょっと迷ってる所です。先ほど三役の1%は、人事院勧告における部長級の上げ幅が1.05%であることを踏まえて決めたように、議員は係長クラスのパーセンテージで上げてもいいんじゃないかというふうに思います。三役の人は土台が大きいので、1%でも金額が大きい、そういうのもあるので、係長クラスの1.606%に見合うパーセンテージは上げていいんじゃないかと思えます。

さっき三役は24時間とか一生懸命働くという話がありましたけど、議員さんは議会が立たないと数は限られてるかもしれないんですけど、それなりに上げて、一生懸命やってくれていう姿勢にしないと、私は理想的には仕事は兼務するしないのは、議員さんになるからには立候補するわけだから、一生懸命市のために働いてくれという姿勢をまず示してもらえるのが大事なので、そうしたときに、報酬も上がらないとなるとやっぱりちょっとモチベーション上がってこないんで、そういう面でも少しでも上げてもいいんじゃないかと思ってます。

○佐野会長

加茂委員。

○加茂委員

先ほどから申し上げておりますが、1%ぐらいでよろしいんじゃないかなと思う。根拠も特になんですけど、気持ちだけ上げましょうと。

○佐野会長

高橋委員。

○高橋委員

はい。私は議員さんも1%でいいかなと、三役と同じでもいいかなと思っております。ただ前回、一年前もちょっとお聴きしましたが、議員さんの活動費がありますね。それに関しては全然使わずに、全部回収されちゃう方もいらっしゃるというお話も聴きましたし、一年前の審議会では、本当に議員活動として必要なものであれば、是非お使いくださいというような文言を加えたと思うんですけども、今現在はどうなってるのかというのをお聴きしたいのと、政務活動費をしっかりと使って、議員さんの活動としての経費をしっかりと使われる。経費として使われてらっしゃるのであれば、ぐっと議員報酬を上げる必要はないかなということで、1%でもいいかなと、そういうイメージです。

○佐野会長

栗原委員。

○栗原委員

はい。私も三役と同等で良いかなと。

○佐野会長

高橋委員。

○高橋委員

政務活動は、どんな感じで消化というか、去年の末の実績の報告になるかと思うんですけども、現状を教えてください。

○佐野会長

議会事務局長。

○事務局（太田議会事務局長）

はい。実は議会ですね、昨年12月に改選がございました。議員さんの選挙がありまして、メンバーがガラリと変わっており、9人が新人ということで変わっております。ですので、去年でいうと12月に選挙がございましたので、12月までのものと、それから1月から新しい議員さんになってるということで、12月までの執行状況としては、全体の63.5%です。こちらには全くお使いにならないでお返しになる方がいましたが、それは議員活動をしていないとか、使っていないということではなくて、会派の方針といいますか、政党の方針で、そういったものはもらわないということでお返しする方がいらっしかったです。

今年の1月から3月の3か月間に関しては今83.61%を使い、令和6年度は精算が済んでおりませんので、今現在お金をお渡ししている状況で、これから3月にならないと、最終的な執行率というのは出てきませんが、新しい議員さんに関しましては、皆さんそれぞれの議員活動の発信に対して、非常にお金をお使いになっているのかなあと。チラシを作ったりして、皆さんにPRして、御自分の活動状況をお知らせするようなこともしていますし、研修に行かれてそちらの研修費や書籍にお使いになっているのかなという状況でございます。

○佐野会長

全員が引上げに賛成かと思っておりますので、審議会全体として、三役と同じ、議員報酬は1%の引上げとしてまいりたいと思っておりますが、御異議ございませんか。また、時期については、新年度の4月1日からでどうだろうと。こんな案が先ほど出ましたけども、それと同じような文面ではよろしいでしょうか。

（異議なし）

異議なしと認めます。

諮問事項の「1 議会の議員の議員報酬の額について」につきましては、令和7年4月1日から、1%の引上げということでまとめさせていただきます。

それでは次の審議に移ります。

【3 朝霞市議会における会派若しくは議員の政務活動費の額】

○佐野会長

私から、議会事務局長にちょっとお尋ねします。政務活動費について、支出報告の内容について、これは政務活動費から外れているというようなものではありませんでしたか。

○事務局（太田議会事務局長）

はい。そういったものが見受けられた場合には、そちらを外していただくようお願いをしております、対象にならないものを間違えて書いてしまうこともありますので。政務活動費については、朝霞市議会のホームページに行っていただくと、全員の皆さんの領収書が出てきますので、そこで市民の皆さんにも公開をさせていただいております。

○佐野会長

松尾委員。

○松尾委員

現行どおりでよいかなと思います。

○佐野会長

細田委員。

○細田委員

結構使う方がいらっやる、80%ほどあるということなんで、積極的に使う方が増

えてるのかなと思っております。私としましては、少し上げてさらに活発に活動してもらってもいいんじゃないのかなと思います。質問ですけれども、平成何年かに一度上げてからずっと、月額2万円という額という話だったんですけど、前は幾らだったのかっていうのを教えていただけたらなと。

○佐野会長  
事務局。

○事務局（松原議会総務課長補佐兼庶務係長）

条例に基づき交付させていただいておりますが、条例の施行が平成14年でありまして、そのときから2万円で支給させていただいておりますので、その前は名前が違うんですけれども、そのときも2万円で支給させていただいております。

○佐野会長  
種子委員。

○種子委員

9人の新人の方がいらっしゃるということで、足りないという声はないのでしょうか。

○佐野会長  
議会事務局長。

○事務局（太田議会事務局長）

はい。実は今、議会改革を議会でも進めていますが、一部の会派からもう少しいただきたいという声は、上がっているところです。その会派がどのくらい今年使われるのかはちょっと分からないですけれども、上げていただきたいというお声は一つの会派から上がってきております。

○佐野会長  
政務活動費を預からない会派はありますか。  
議会事務局長。

○事務局（太田議会事務局長）

現在はありません。改選前は、全額お返しされる会派がございました。

○佐野会長  
高橋委員。

○高橋委員

去年もこの件は結構議論させていただいたと思うんですけども、私としてはですね、政務活動費を有効に使っていただいているならば、それなりに上げて構わないとは思っております。プライベートでは基本的には使えません。そういうお金ですので、有効に使っていただければ構わないとは思いますが、これから動きがあると思いますので、現状維持でもいいかなとは思っております。

議会の方でもっと上げてほしいというような要望が、正式に出てくるようであれば、もしかしたら来年もするかもしれないのでその段階で、しっかり考えて上げるかという判断をすればそれでいいのかなと思っております。

○佐野会長  
相澤委員。

○相澤委員

政務活動費に関してはこの資料の6ページ目のみが判断材料になると思ってよろしいですかね。物価高なので、上げてもいいのかなと思うところはあるんですけども、実際使われてる方の声は私聴いたこともないですし、昔に比べてその使い方の中身とかもきっと変わってきてると思うんですよね。先ほどおっしゃられたようにPRする、広報的なものに使われてる方が多いというふうにおっしゃってたりするので、以前とはその使う中身も変わってきてる中で、具体的にどういうふうに使われていて現場でどういう声

が上がってきてるのか、というところがこの資料だけだと読み取れないところもありますので、今の段階では現状維持でいいのかなというふうには思っています。

○佐野会長

五十嵐委員。

○五十嵐委員

政務活動費、こちらに関しては私の意見ですが、年間で24万円です。それほど多くないし、先ほどもありましたけど、議員さんからもっと上げてくれという強い要望がいっぱい出てくるんだったら、値上げも考えなくちゃいけないけど、そういう声あまりなければ、現状維持で私はいいと思います。

○佐野会長

加茂委員。

○加茂委員

政務活動費は、24万円、全員が使い切ってるんですか。残った額は、割合的にはどれくらい返還されているんですか。

○佐野会長

事務局。

○事務局（松原議会総務課長補佐兼庶務係長）

全体の執行率になるんですけども、全額お返しされている方を除いた分の執行率になります。令和5年度ですと69.95%、4年度ですと85.37%、令和3年度66.25%、令和2年度は64.12%、過去4年間はそんな感じになっております。

○佐野会長

加茂委員。

○加茂委員

ということは、大きく見れば、現行の2万円でOKということになると思うんですけどね。現状の使い方から見れば。

○佐野会長

栗原委員。

○栗原委員

はい。私も政務活動費については、現行のままでいいかなと思います。

○佐野会長

それではここでまとめたいと思います。皆さんの御意見を聴きますと、政務活動費の額は据え置きでいいのかなというような考えが強いようでございますので、当分の間据え置きが妥当であると。御異議ございませんか。

（異議なし）

異議なしと認めます。

それでは、諮問事項の「3 朝霞市議会における会派若しくは議員の政務活動費の額について」につきましては、当分の間は据え置くことが適当であるということとまとめさせていただきます。

それでは次の審議に移ります。

#### 【4 その他（議会の議員の期末手当の支給月数について）】

○佐野会長

続きまして、議会の議員の期末手当の支給月数についてですが、これは諮問事項ではなく、その他の事項ということで、御意見を伺います。

職員課長に確認しますが、期末手当は報酬額が上がれば、この金額も上がってくるわけですね。

○事務局（佐藤職員課長）

おっしゃるとおり、報酬額がアップすれば、これが基礎額になりますので、期末手当の額も上がるという形になります。

○佐野会長

高橋委員。

○高橋委員

一般行政職の方も、計算方式は同じでよいですか。

○佐野会長。

職員課長。

○事務局（佐藤職員課長）

はい。計算方法につきましては、1回目にお配りさせていただいてる資料の5ページを御覧いただきたいのですが、議員につきましては、三役と同じ形で、報酬に役職加算ということでの1.2を掛けまして、さらに支給割合3.75月を掛けるという計算式でございます。

○事務局（田中給与厚生係長）

一般行政職については、概ね計算式としては同じですが、掛ける月数が違いまして、議員さんは3.75月のところ、令和6年度、今現在ですと、一般職では期末手当と勤勉手当を合わせまして、年間で4.5月。三役も4.5月という考え方です。また、役職加算については、議員さんの場合は1.2としてますけれども、一般職については職員によって、1.05から1.2、主事級ですと掛率なしという職員もございます。

○佐野会長

相澤委員。

○相澤委員

県内の人口の類似市では、だいたい4.5月が多いことに比べて、朝霞4市は3.いくつが多い理由は御存知ですか。

○佐野会長。

議会事務局長。

○事務局（太田議会事務局長）

すいません、理由ではないのですが、傾向としてお話をさせていただくと、埼玉県内40市において、3.9月以下というのが5市です。残りの35市は4.0月以上になっております。一番大きいところは4.5月です。さいたま市は3.4月です。それから、川口市が3.7月、朝霞市が3.75月、和光市が3.3月、新座市が3.4月です。

なぜそうなってるのかは分からないのですが、やはりどこの市も報酬等審議会をお持ちですので、そういったところでの御審議の結果ということだと思います。

○佐野会長

五十嵐委員。

○五十嵐委員

何が良くて何が疑問かも分からない、この資料だけでは分からないので、このままでやむを得ないと思います。

○佐野会長

加茂委員。

○加茂委員

こんなものかなと思います。この前に1.2を掛けてますからね。三役に比べると約8割ですが、勤務の状況からすれば、これも妥当かなと思います。

○佐野会長

栗原委員。

○栗原委員

今回、報酬額を上げたということもありますので、月数については現状のままでよろしいかなというふうに考えております。

○佐野会長

細田委員。

○細田委員

はい。自分は、市長副市長教育長は4.5月なので、議員さんの方もそれに合わせた方がいいんじゃないかなと思っております。

○佐野会長

高橋委員。

○高橋委員

根本的な報酬も含めてなんですけども、三役が常勤職で、議員さんは常勤職じゃないというふうに考えられる場合と、逆に三役と遜色なく、常に議員活動をされてらっしゃる方もいらっしゃるというふうに思う場合とで、一番変わってくるのかなと思います。

三役と同じように、ずっと一日中議員活動されてるという認識であれば、三役と同じ4.5月になってもおかしくはないと思いますし、逆にやはり本業を別に持ってらっしゃって、議員活動をされてるということに重きを置いて考えられる方であれば、当然3.75月が妥当なのかなと。その辺をどういうふうに見るかということによって、議員報酬も含めて、いろんな意見が出てしまうのかなと思います。最終的には多数決で決めればいいのかと思います。

○佐野会長

全体の御意見を伺いますと、期末手当の件については、据え置いたらどうだろうと、今まで通りでどうだろうという意見が強いようでございますので、皆さんにお諮りをいたします。当分の間、据え置くことが適当であるとするに、御異議ございませんか。

(異議なし)

異議なしと認めます。

それでは、議員の期末手当の支給月数につきましても、当分の間は据え置くことが適当であるということでもとめさせていただきます。

それでは、ただいまの意見を元に答申書作成をさせていただきます。答申書の作成について、事務局から説明をお願いいたします。

◎事務局説明

○佐野会長

本日の会議につきましては、この程度で止めさせていただきたいと思っております。次に、次回の会議の予定等につきましては、事務連絡を事務局からお願いいたします。

◎事務連絡

○佐野会長

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了させていただきます。本日はこれで散会いたします。皆様お疲れ様でした。